

会 員 様

(公社) 秋田県トラック協会・陸災防秋田県支部

今般、秋田労働局より下記のとおり通知がありました。会員の皆様におかれましては、これらの趣旨をご理解いただき、引き続き、転倒災害防止に努められますようお願い申し上げます。

秋労基発 1130 第2号

令和3年11月30日

陸上貨物運送事業労働災害防止協会秋田県支部長 殿

秋田労働局労働基準部長



転倒災害防止対策に係る周知について（お願い）

労働基準行政の運営につきましては、日頃より格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、別添資料のとおり、秋田県内で発生する休業4日以上労働災害のうち、転倒による災害が最も多く全体の25%を超えており4人に1人が転倒災害により怪我をしている現状にあります。

特に県内では、冬季の転倒災害が多く発生しており、転倒災害を撲滅するため、秋田労働局では転倒災害防止プロジェクトチーム（以下、「プロジェクトチーム」という。）を設置し「STOP！転倒災害防止プロジェクト」を推進し、労働災害防止対策に取り組んでいます。

この度、プロジェクトチームの提言により令和3年12月から令和4年2月までの期間を「転倒災害防止大作戦～冬季間は『見える化』実施で転ばない職場の実現を～」と題した転倒災害防止キャンペーンを展開することといたしました。

つきましては、これらの趣旨をご理解いただき、別紙リーフレット「転倒災害防止大作戦～冬季間は『見える化』実施で転ばない職場の実現を～」及び資料「秋田県内における転倒災害発生状況」について関係事業場に対し周知下さるようお願い申し上げます。

なお、ご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記担当まで連絡していただきますようお願い申し上げます。

【連絡先・担当】

秋田労働局 労働基準部

健康安全課 産業安全専門官 田川

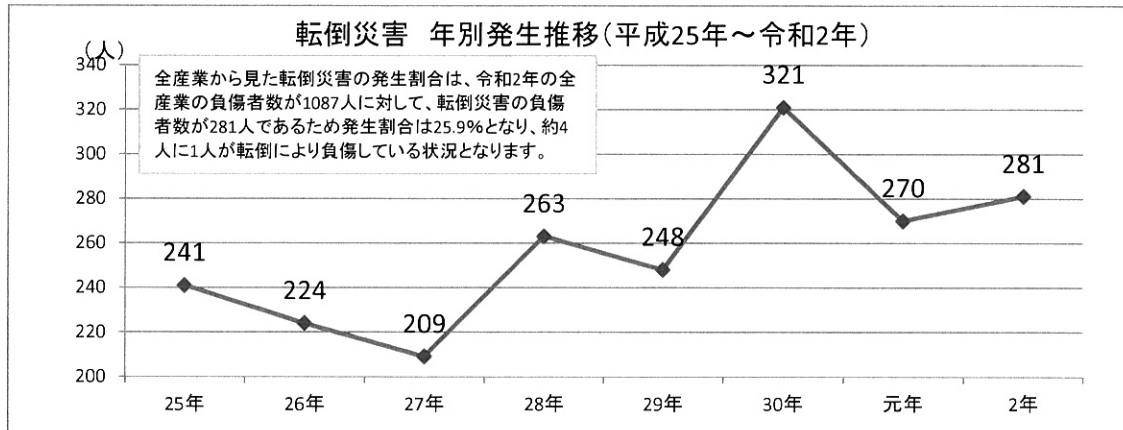
〒010-0951 秋田市山王七丁目1-3

TEL:018-862-6683 FAX:018-864-6370

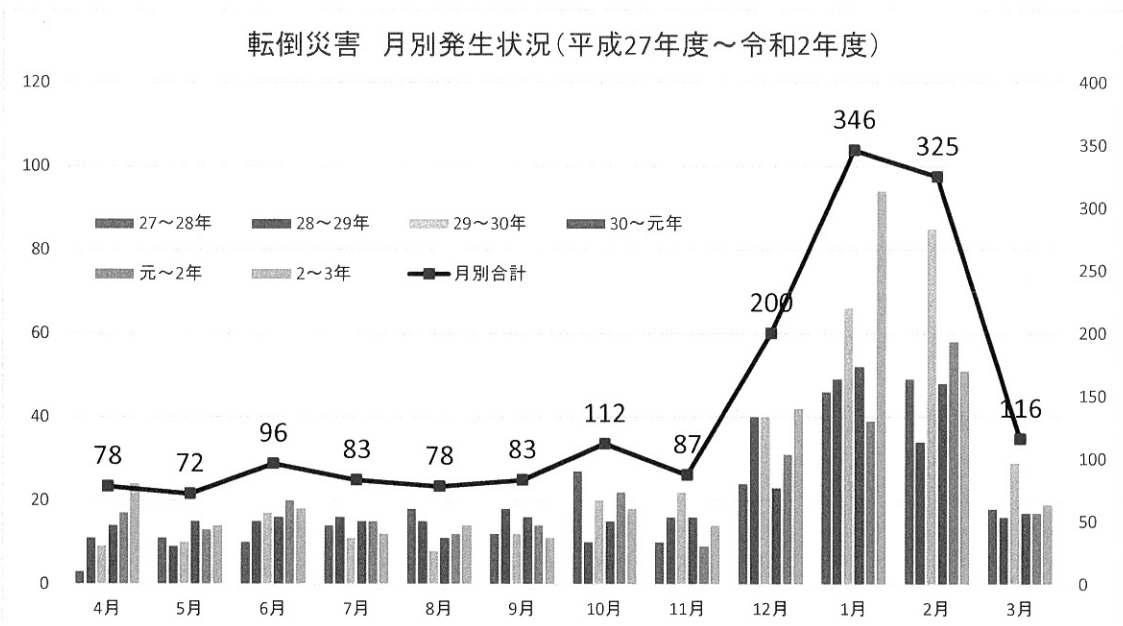


秋田県内における転倒災害発生状況

資料

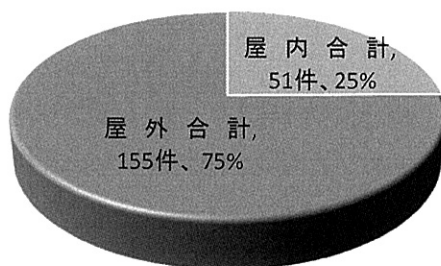


※転倒災害について、平成25年から令和2年(暦年)による負傷者数の推移を表しております。平成25年には1年間で241人の労働者が何らかの形で仕事に転倒により負傷をしておりましたが、令和2年においては、281人の労働者が転倒により負傷しており、負傷者数は上下しながらも増加傾向にあります。

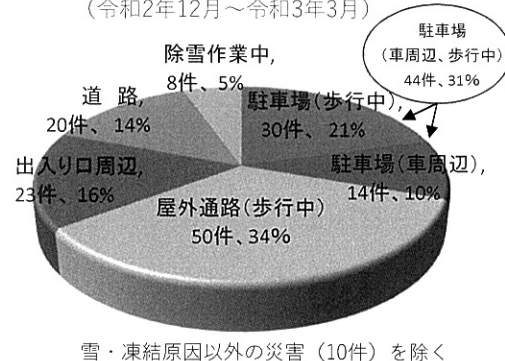


※平成27年度から令和2年度までの4月から3月までに発生した月別の転倒災害による負傷者数を表しております。秋田県内における転倒災害は冬期間の12月から2月にかけて急激に負傷者数が増え、屋外の凍結路面等における転倒が目立つようになります。令和3年1月には周期的に発生した爆弾低気圧の影響により、低気圧発生後に転倒災害が都度発生し1ヵ月で94人が負傷するという、過去最高の転倒による負傷者数となりました。

屋内・屋外別 冬季転倒災害
(令和2年12月～令和3年3月)



屋外における発生場所別冬季転倒災害
(雪・凍結原因のもの、145件)
(令和2年12月～令和3年3月)



※上記円グラフは、令和2年12月～令和3年3月までに発生した転倒災害をそれぞれ分類した円グラフになります。左側は発生場所を表しており、右側は転倒災害時の作業内容等を表しております。冬期間は屋外の敷地内通路を歩行中に転倒している事例が最も多くなっております。

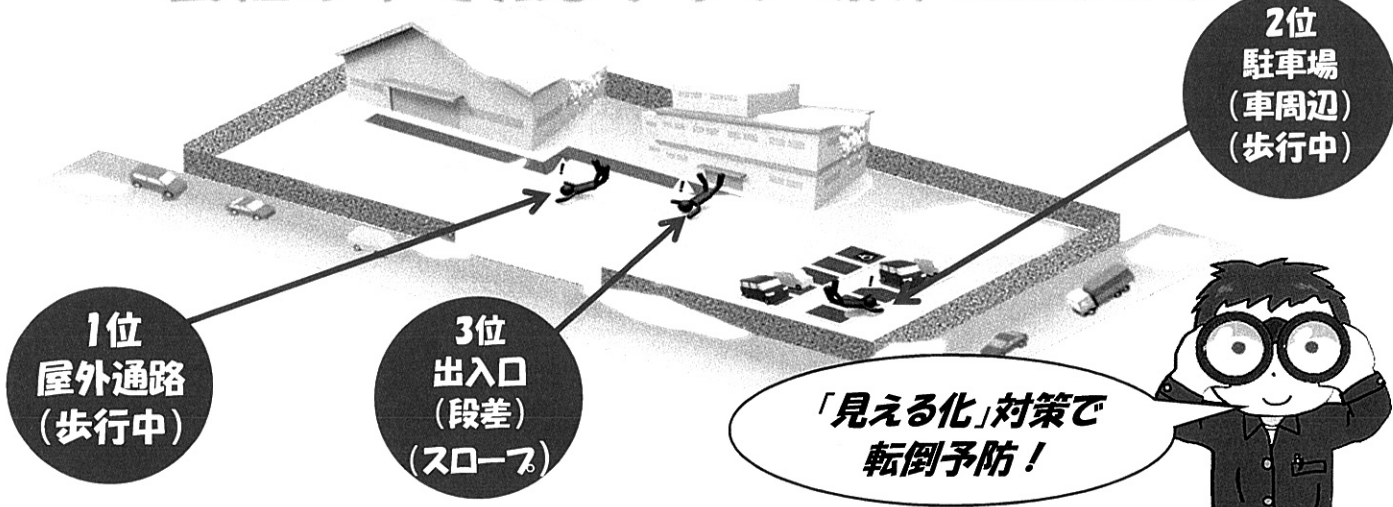
全ての事業場の皆様へ

令和3年12月～
令和4年2月

転倒災害防止大作戦!!

～冬季間は「見える化」実施で転ばない職場の実現を～

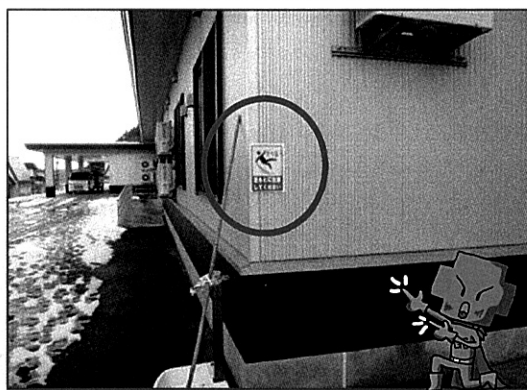
会社の中で転びやすい場所 BEST 3



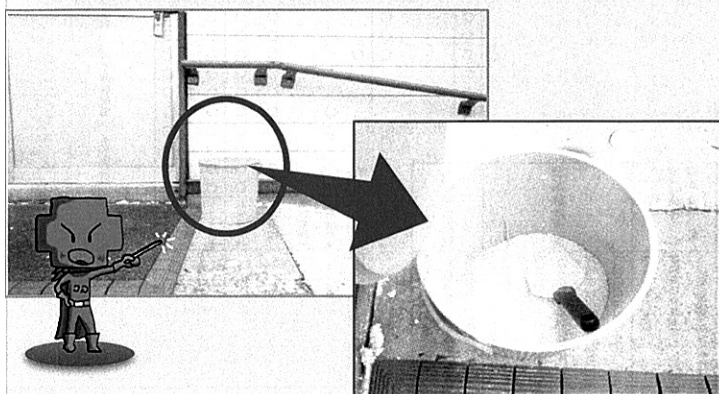
作戦① 出入り口に注意表示の「見える化」設置で転倒災害防止!



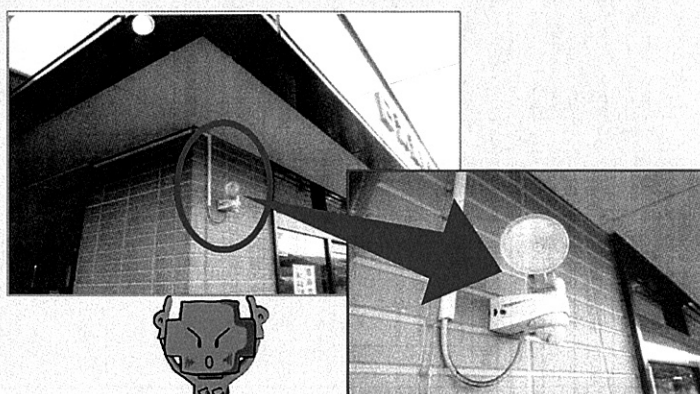
作戦② 転倒事故の多発する駐車場にも「見える化」で注意表示を



作戦③ 駐車場や凍結しやすい通路に融雪剤を設置して凍結防止!



作戦④ 冬季間は早く暗くなります。センサーライトの設置で明るさ確保!



①～④の転倒防止対策を事業場内で検討し、出来る対策から積極的に取り組みましょう。

作業場所に適した注意表示の設置を行いましょう

転倒注意



屋外に出るとき
履物交換

転倒注意



この先
傾斜あり

転倒注意



この先
段差あり

転倒注意



凍結のおそれあり

転倒注意



ぬれた床
滑りやすい

転倒注意



足元注意

★転倒事故事例から見た6つの危険ポイント★

1. 屋外に出るときには作業に適した履物を着用しましょう。
2. 重機での除雪後は路面がツルツル。慎重な歩行を。
3. 歩行環境が変化する建物内から屋外へ出るときは要注意。
4. 放射冷却が発生した朝は凍結箇所が多くなっています。
5. 出勤時の車から降りた直後に転倒事故が多発しています。
6. 出入口は同じ場所が踏み固められ凍結部分が発生します。